



国連生物多様性の10年

エコツーリズム推進協議会の活動状況について（お知らせ）

平成27年7月23日（木）
 環境省自然環境局国立公園課
 国立公園利用推進室
 （代表：03-3581-3351）
 （直通：03-5521-8271）
 室長：田邊 仁（内：6641）
 専門官：寺田英司（内：6643）

エコツーリズムとは、地域のガイドが自然環境や歴史文化など、地域固有の魅力を観光客に伝えることにより、その価値や大切さが理解され、保全につながっていくことを目指していく仕組みです。

エコツーリズム推進法に基づき、「エコツーリズム推進全体構想」の認定を受けた全国6つのエコツーリズム推進協議会の、活動状況をお知らせします。

これからの夏休みシーズンにお近くや旅行先のエコツアーに参加してみてください。

1 エコツーリズム推進協議会の名称等について

市町村名	エコツーリズム推進協議会名	これからの時期に体験できるエコツアーの紹介等
群馬県みなかみ町	谷川岳エコツーリズム推進協議会 連絡先：0278-25-5031 担当：深津 URL： http://www.env.go.jp/nature/ecotourism/try-ecotourism/certification/tanigawadake/index.html	<ul style="list-style-type: none"> ・「谷川岳一ノ倉沢エコハイキング」（6～11月） ・「谷川岳天神平散策ツアー」（6～10月） ・「谷川岳自然と歴史のトレッキング」（6～11月） <p>【協議会のコメント】 谷川岳は、毎年7月第一週の山開きを終え、とてもいい季節を迎えています。また、8月に「山の日」イベントも開催いたしますので、是非協議会ホームページをご確認ください。</p>
埼玉県飯能市	飯能市エコツーリズム推進協議会 連絡先：042-973-2123 担当：熊澤・片野・安部 URL： http://www.env.go.jp/nature/ecotourism/try-ecotourism/certification/hannou/index.html	<ul style="list-style-type: none"> ・「はじめてのプチサバイバル（名栗の古民家で過ごす夏休み）」（8月） ・「1日漁師（カヌーに乗ってブラックバスの駆除）」（9月） ・「ユガテの森で箸づくりと猪なべ」（2月） <p>【協議会のコメント】 「地域の人が地域の言葉で地域をガイドする」市民の方が手づくりの温かみのあるエコツアーを年間100回以上開催しています。 エコツアーを通じて、飯能の魅力を五感で感じてください。</p>

<p>三重県名張市</p>	<p>名張市エコツーリズム推進協議会</p> <p>連絡先：0595-63-7824 担 当：名和 URL：https://www.env.go.jp/nature/ecotourism/try-ecotourism/certification/nabari/index.html</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「忍者修行体験ツアー」（通年） ・「夏休みちびっこわくわく体験ECOツアー」（7～8月） ・「滝に打たれて自分をみがくECOツアー」（6～10月） <p>【協議会のコメント】 オオサンショウウオが生息する豊かな自然、伊賀忍者や行者が修行した聖地・赤目四十八滝で、リフレッシュな体験を！</p>
<p>三重県鳥羽市</p>	<p>鳥羽市エコツーリズム推進協議会</p> <p>連絡先：0599-25-1157 担 当：松岡・杉本 URL：http://www.env.go.jp/nature/ecotourism/try-ecotourism/certification/toba/index.html</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「船で行く！漁師町の島ランチツアー」（通年） ・「海女の国スピリチュアルツアー」（通年） <p>【協議会のコメント】 「循環」と「連携」をキーワードに、エコツーリズムを進め、自然や歴史・文化の保護や魅力向上を図ります。</p>
<p>京都府南丹市</p>	<p>南丹市美山エコツーリズム推進協議会</p> <p>連絡先：0771-77-0014 担 当：高御堂・大野 URL：https://www.env.go.jp/nature/ecotourism/try-ecotourism/certification/nantan/index.html</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「かやぶきの里ガイドツアー」（通年） ・「芦生の森ネイチャーガイドトレッキングツアー」（4～11月） ・「狩猟体験」（10～翌6月） <p>【協議会のコメント】 「日本の原風景が織りなす里山の暮らし」をテーマに「人と自然をつなぐ伝統の知恵」を体験と交流を通して地球の未来のために学びましょう。</p>
<p>沖縄県渡嘉敷村・座間味村</p>	<p>渡嘉敷村エコツーリズム推進協議会・座間味村エコツーリズム推進協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・渡嘉敷村エコツーリズム推進協議会 連絡先：098-987-2333 担 当：小嶺 ・座間味村エコツーリズム推進協議会 連絡先：098-987-2320 担 当：仲宗根 <p>URL：http://www.env.go.jp/nature/ecotourism/try-ecotourism/certification/kerama/index.html</p>	<p>「スキューバダイビング、シュノーケリング、シーカヤックなどの体験型エコツアー」（通年）</p> <p>【協議会のコメント】 慶良間諸島にはケラマブルーと呼ばれる透明度の非常に高いサンゴ礁の海が広がっています。経験豊富なガイドのもと、自然を大切にしながら行われている様々なエコツアーを体験しに来てください。</p>

2 各地域のエコツーリズム推進協議会の活動状況（平成26～27年度）

添付資料「各地域のエコツーリズム推進協議会の活動状況」をご覧ください。

（参考）エコツーリズム推進法 関係条文

第11条 主務大臣は、毎年、協議会の活動状況を取りまとめ、公表しなければならない。

谷川岳エコツアー推進協議会の活動状況

群馬県みなかみ町

項目	内容
代表的なエコツアー ・エコツアーの名称 ・実施時期 ・エコツアーの内容 ・問合せ先	<p>■谷川岳一ノ倉沢エコハイキング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：6月～11月 ・内容：高山植物などの自然解説を受けながら、日本三大岩壁の一つ、谷川岳一ノ倉沢を目指すツアー。 舗装された道路を歩くため、スニーカーでも参加できるツアーとなっている。 (平成26年度参加者実績：365名) <p>■谷川岳天神平散策ツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：6月～10月 ・内容：谷川岳ロープウェイを使い天神平付近を散策するツアー。 カタクリやニッコウキスゲなど、季節の高山植物のお花畑や谷川岳ならではの植物が楽しめるツアーとなっている。 (平成26年度参加者実績：63名) <p>■谷川岳自然と歴史のトレッキング（平成26年度谷川岳山麓ツアー）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：6月～11月 ・内容：湯桧曾川沿いの歴史ある道を歩き、谷川岳の一ノ倉沢の大岩壁を目指すツアー。多少の高低差もあり、トレッキング中級者向けのコース。自然解説だけでなく、谷川岳にまつわる歴史をたどることができるツアーとなっている。 (平成26年度参加者実績：35名)
エコツアー推進法の基本理念への取り組み状況 ・自然環境の保全	<p><自然環境の保全></p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定外来種のオオハンゴンソウの除去をしながら谷川岳をトレッキングするツアーを実施。 (平成26年度参加実績75名) ・一ノ倉沢の通行規制を行い、自然環境への配慮を行うとともに、トレッキングをする方への安全面の配慮を行う。また、歩行が難しい方でも一ノ倉沢を楽しんで頂くために、環境へ配慮した電気バス「一ちゃん」「倉ちゃん」を導入。平成27年度からは、協議会インタープリター研修修了生がバスガイドとして乗車しており、気軽に自然解説を楽しめる。

<p>・観光振興・地域振興</p> <p>・環境教育の場としての活用</p>	<p><観光振興・地域振興></p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅行者がみなかみ町内の旅館等宿泊施設を利用すると、特別価格で協議会のエコツアーに参加できるイベントを季節ごとに実施。また、町内の宿泊事業者と連携を図り、エコツアーと宿泊のセットプランを作成し販売促進を行う。 <p><環境教育の場としての活用></p> <p>町内全小中学校を対象に谷川岳のエコツアーを体験してもらい取り組みを実施。</p> <p>実際のエコツアーの前に、事前学習会も行い、より身近に谷川岳を感じて頂ける事業を行う。</p>
<p>特記事項</p>	<p>特になし</p>

飯能市エコツアー推進協議会の活動状況

埼玉県飯能市

項目	内容
代表的なエコツアー ・エコツアーの名称 ・実施時期 ・エコツアーの内容 ・問合せ先	<p>(平成26年度実績)</p> <p>■古民家で「旬産旬消」を体験してみませんか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：5月 実施回数：1回 参加者数：10人 ・内容：名栗地区の古民家で、旬の食材を旬の時期に食べる、旬産旬消の昼食づくりを楽しみます。風土が育んだこの地域の食や生活、歴史を楽しく学びながら、人にも地球にもやさしい旬産旬消について考えます。 ・問合せ先：町田雅子 <p>■ユガテの森で森林浴とクラフト体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：8月 実施回数：1回 参加者数：10人 ・内容：飯能の名産である木材「西川材」の間伐材を使ってクラフト体験します。体験を通じて、ものづくりの楽しさや木の温もりを感じます。木工体験の前には、西川材を生み出す山林を訪ね、森林・林業の実情を見学します。 ・問合せ先：NPO法人西川木楽会 <p>■お散歩マーケット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：5月・11月 実施回数：2回 参加者数：1,859人 ・内容：南高麗地区の山あいの集落で、山道をのんびりとお散歩しながら景色を眺め、地元で採れた野菜や手作り品のお買い物やおしゃべりで地元の人とのふれあいを楽しみます。 ・問合せ先：飯能市役所観光・エコツアー推進課 <p>■ヤマムスメが行くシリーズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：5月・7月・9月・11月・1月、実施回数：5回、参加者数：50人 ・内容：飯能と自然を愛するヤマムスメツアー。飯能市内の山に登りながら、ガイドの案内で周辺の植物や地域にまつわる歴史をご案内。山頂では、参加者ととともに地産地消にこだわった山ごはん作りに挑戦します。 ・問合せ先：飯能市エコツアー活動市民の会事務局 <p>■里山のリースづくりツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：12月 実施回数：1回 参加者数：18人 ・内容：ガイドの案内で、飯能の里山の自然を観察しながら、つるや木の実、葉っぱなどの山の恵みをいただき、クリスマス

リースを作ります。楽しみながら、自然の大切さを感じるツアーです。

- ・問合せ先：天覧山・多峯主山の自然を守る会

(平成27年度予定) 平成27年7月以降

■里山でじゃがいも収穫祭

- ・実施時期：7月
- ・内容：里山体験ツアーです。春に植えたじゃがいもが収穫の季節を迎えました。みんなで収穫体験やじゃがいもの調理・試食を楽しみましょう。お昼は里山の郷土料理を味わいます。青空の下、スローなひとときを過ごしませんか。
- ・問合せ先：白子五人衆

■はじめてのプチサバイバル～名栗の古民家で過ごす夏休み～

- ・実施時期：8月
- ・内容：自然豊かな名栗地区で、地元の大学生と一緒に古民家で、「プチサバイバル」をします。自然体験をする機会が少ない今、子どもたちが主役となって、エコストーブを使った食事作りやネイチャーゲーム、古民家再生のお手伝いなど、様々な活動にチャレンジします。
- ・問合せ先：飯能市エコツーリズム活動市民の会事務局

■1日漁師～カヌーに乗ってブラックバスの駆除～

- ・実施時期：9月
- ・内容：木製カヌーで名栗湖に乗り出し、一緒に網でブラックバスを捕まえます。漁を楽しみながら流域の生態系を守る、やりがいのあるツアーです。捕ったブラックバスは粗末にせずおいしくいただきます。
- ・問合せ先：飯能市役所観光・エコツーリズム推進課

■国重要文化財 福德寺阿弥陀堂見学と芋煮会

- ・実施時期：11月
- ・内容：国の重要文化財となっている福德寺の阿弥陀堂の御開帳に合わせて、この建物の見どころを地元のガイドがご案内します。お昼には地元産の里芋を使った芋煮づくりやかまどでご飯を炊いて食べましょう。午後は、地域を支えてきた西川林業地の美林の散策や、サトイモの収穫を楽しみます。
- ・問合せ先：飯能市役所観光・エコツーリズム推進課

■ユガテの森で箸づくりと猪なべ

- ・実施時期：2月
- ・内容：飯能の名産である木材「西川材」。今回は、森林の整備で伐

	<p>採した間伐材を使って、五角形の木箸づくりを体験します。お昼は、製作したお箸を使って猪鍋をいただき、体を温めましょう。午後は獣害対策及び森の間伐現場、製材見学をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問合せ先：飯能市役所市観光・エコツーリズム推進課 <p>■竹で炊け！竹筒ごはんと春の里山遊び</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：3月 ・内容：古くから素材・食材として親しまれてきた「竹」。しかし、最近放置されたままの竹林が全国的に増加しています。これらの問題を考えながら、竹林で環境整備をし、伐採した竹で箸や器を作り、竹筒でご飯を炊きます。楽しみながら環境問題や竹の有効利用について考えるツアーです。 ・問合せ先：飯能市役所観光・エコツーリズム推進課
<p>エコツーリズム推進法の基本理念への取り組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境の保全 <ul style="list-style-type: none"> ・観光振興・地域振興 	<p><自然環境の保全></p> <p>飯能市のエコツーリズムは、基本方針の一つとして「自然の保全・再生と文化を継承し将来へ伝える」を掲げている。</p> <p>間伐された木材を使って木工体験をするツアーや、外来種であるブラックバスを駆除するツアーなど、直接的に環境保全に役立つツアーの実施や、ムササビなど里山に生息する生きものの観察後、生きものたちが生息できる環境づくりについて考えるツアーなど、間接的に環境保全につながるツアーを実施した。</p> <p>エコツアーを企画する際、エコツーリズムの目的や内容について事前に確認・協議を行う事前協議制度を実施し、環境の保全・環境への配慮を行っている。</p> <p>また、エコツアーの下見や実施の際、エコツアーで活用している資源の状況について、ツアー実施者や事務局でモニタリングを行い、年度末に報告書としてまとめている。</p> <p><観光振興・地域振興></p> <p>市内のイベントを始め、エコライフフェアや東京ビックサイトで開催されたツーリズム EXPO ジャパンなどで来場者に飯能市のエコツーリズムの取組みをPRした。</p> <p>エコツアーの参加者の方に、市内の観光ガイドマップを配布して、お土産や食事場所、観光名所などの情報の提供や温泉の割引券を配布するなどして、観光PRを積極的に行った。</p> <p>平成26年度は137のエコツアーを企画し、121ツアーを実施し、参加者数も4,260人となり、平成25年度に引き続き、4,000人以上の参加者にお越しいただいた。</p>

<p>・環境教育の場としての活用</p>	<p>エコツアーの実施団体も平成26年度に8団体増え、地域住民の全員参加による飯能市のエコツアーが着実に進んでいる。</p> <p>また、ツアーの集合場所を鉄道駅やバス停に設定することで、公共交通の利用促進を図っている。</p> <p>そして、ツアーの中で地元食材を使った飲食店や温泉の利用、お土産を購入する時間を設けるなど、市内消費機会の創出を図った。</p> <p><環境教育の場としての活用></p> <p>平成24年度から、遠足・校外学習等で飯能市を訪れる小学校を対象にしたプログラム「飯能わくわく体験遠足」を実施している。</p> <p>平成26年度から新たに中学校の受入れ(2校)を行い、実績として、春に2校(練馬区2校)、初夏に1校(日高市1校)、秋に2校(入間市1校、西東京市1校)の受入れを行った。</p>
<p>特記事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年1月に、飯能市エコツーリズム推進全体構想の再認定を受けた。再認定にあわせて、エコツーリズムの取組みを周知するパンフレットを作成した。 ・飯能市エコツーリズムを持続的に展開していくために、推進体制の現状と課題を整理し方向性を検討する「推進組織・基金のあり方検討部会」を年2回開催した。 ・優れているエコツアーを選定し、表彰することで、飯能市のエコツーリズムの益々の発展に寄与することを目的として、「飯能市エコツーリズムアワード」を創設した。 ・今年度も、エコツアーガイド養成講座「エコツーリズムオープンカレッジ」を開催し、20名のガイドを育成した。

名張市エコツアー推進協議会の活動状況

三重県名張市

項目	内容
<p>代表的なエコツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコツアーの名称 ・実施時期 ・エコツアーの内容 ・問合せ先 	<p>■ 忍者修行体験ツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：通年 ・内容：忍者修行発祥地の赤目四十八滝に隣接する「忍者の森」で登り術、手裏剣術などの約 20 種類の忍者修行体験を行い、修了者に巻物「免許皆伝の書」を渡します。 ・問合せ先：赤目四十八滝溪谷保勝会エコツアーデスク <p>○平成 26 年度実績 9,129 人</p> <p>○平成 27 年度計画</p> <p style="padding-left: 20px;">内容等は前年度とほぼ同様</p> <p>■ 夏休みちびっこわくわく体験 ECO ツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：7 月 19 日～8 月 31 日 ・内容：赤目四十八滝周辺の雑木林や沢で昆虫、小魚、沢蟹などの生き物を観察しながら冒険的な自然体験を楽しみます。 ・問合せ先：赤目四十八滝溪谷保勝会エコツアーデスク <p>○平成 26 年度実績 379 人</p> <p>○平成 27 年度計画</p> <p style="padding-left: 20px;">実施時期：平成 27 年 7 月 18 日～8 月 31 日</p> <p style="padding-left: 20px;">内容等は前年度とほぼ同様</p> <p>■ 滝に打たれて自分をみがくエコツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：6 月 1 日～10 月 31 日 ・内容：赤目四十八滝の中でも修験道修行の聖地「大日滝」まで登り、マイナスイオン溢れる幻想的な空間で、滝に打たれ、自分を磨き、癒します。 ・問合せ先：赤目四十八滝溪谷保勝会エコツアーデスク <p>○平成 26 年度実績 414 人</p> <p style="padding-left: 20px;">(平成 27 年 1～2 月大日滝氷瀑ツアー実績 9 人)</p> <p>○平成 27 年度計画</p> <p style="padding-left: 20px;">実施時期：平成 27 年 7 月 18 日～8 月 31 日</p> <p style="padding-left: 20px;">内容等は前年度とほぼ同様</p> <p>■ 赤目に眠る歴史散策と赤目四十八滝へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：9 月 18 日 ・内容：地元観光案内ボランティアガイドが同行し、豊かな自然と奈良東大寺の「お水取り」で使用する松明調進にゆかりのある極楽寺等の歴史文化にふれる散策ツアーです。

	<ul style="list-style-type: none"> ・問合せ先：近畿日本鉄道株式会社 ○平成 26 年度実績 約 300 人 ■青蓮寺湖ぶどう狩り <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：7 月 20 日～10 月 31 日 ・内容：青蓮寺湖周辺の青蓮寺湖観光村のぶどう農園で、自然とふれあいながら、ぶどうを収穫し、食べます。 ・問合せ先：青蓮寺湖ぶどう組合 ○平成 26 年度実績 53,466 人 ○平成 27 年度計画 <ul style="list-style-type: none"> 実施時期：平成 27 年 7 月 20 日～10 月 31 日 内容等は前年度とほぼ同様 (平成 27 年度新企画) ■赤目溪谷源流冒険ツアー <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：平成 27 年 7 月 4 日～9 月 30 日 ・内容：赤目四十八滝の遊歩道の上流に向かって進み、源流でのシャワークライミング、冒険、生き物とのネイチャーゲームを行います。(対象 10 歳以上) ・問合せ先：赤目四十八滝溪谷保勝会エコツアーデスク
<p>エコツーリズム推進法の基本理念への取り組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然環境の保全 ・ 観光振興 ・ 地域振興 	<p><自然環境の保全></p> <p>国の天然記念物の「オオサンショウウオ」の生息保護、溪谷内遊歩道・周辺ハイキングコースの保全管理等を行っています。ゲンジボタル、ヘイケボタル、ヒメボタルの生息地の保護・観察等をボランティアと連携して行っています。</p> <p><観光振興></p> <p>赤目四十八滝、香落溪等の自然資源、忍者等の歴史文化資源を活かした「伊賀地域」、「東大和・西三重」を中心とした広域的な観光エリアキャンペーンを平成 26 年度は特に大規模に展開し、「名張市観光戦略」の計画策定、学生視線による旅行企画コンテストを実施し、観光振興を図りました。</p> <p><地域振興></p> <p>赤目四十八滝の最寄りの「近鉄赤目口」駅前で赤目まちづくり委員会が運営する「旅のステーション」と連携し、来訪者等への情報提供を図りました。</p> <p>地元特産品の商品開発と連携し、地域経済の振興を図っています。</p>

<p>・環境教育の場としての活用</p>	<p><環境教育の場としての活用> 市内外の小中学校に、観光及びエコツアーリズムの情報を発信したところ、赤目四十八滝への環境学習として散策ツアーを行う学校が増加しました。 平成26年度実績 17校</p>
<p>特記事項</p>	<p>平成26年7月にエコツアーリズム推進全体構想が認定され、様々な視点で構想の推進を検討しています。平成27年度は、赤目四十八滝周辺及び青蓮寺湖周辺のエコツアーの創出を目指し、モデルコースの設定、モニターツアーの実施を計画しています。</p>

鳥羽市エコツアー推進協議会の活動状況

三重県鳥羽市

項目	内容
代表的なエコツアー ・エコツアーの名称 ・実施時期 ・エコツアーの内容 ・問合せ先	<p>■海島遊民くらぶ</p> <p>①船で行く！漁師町の島ランチツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：通年 ・内容：鳥羽の答志島は、漁師の島。季節によって様々な魚貝が水揚げされています。鳥羽から答志島までは30分の船旅をお楽しみください。ランチには、答志島の家庭料理を食べさせてくれる食堂で、旬の魚介を！食堂の母さんとの会話も絶品！deepな鳥羽をお手軽に満喫♪ <p>②海女の国スピリチュアルツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：通年 ・内容：女性のお願い石神さん参り&海女小屋体験など、漁業が盛んな鳥羽の自然と祭礼・文化の中で、いつもと違った自分だけの旅をお楽しみください。ご希望に応じてガイドがプランニングします。海女小屋では海女さんと楽しくお話ししながら目の前で魚介を焼いてもらえるおやつ付き♪ <p>■島の旅社</p> <p>①浮島自然水族館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：日にち限定 ・内容：島の沖合に浮かぶ無人島である浮島、手つかずの自然に住む生き物たちとふれあいます。 <p>②路地裏散策と海女小屋体験</p> <p>路地裏を歩きながらスタッフが島の暮らしや文化を案内します。途中には、つまみ食いできる島の味と、海女小屋でお昼を頂きます。</p>
エコツアー推進法の基本理念への取り組み状況 ・自然環境の保全	<p><自然環境の保全></p> <p>観光資源を体験するだけでなく、知ることによって、自然環境の保全へと繋げていきます。エコツアーカフェ等で観光と自然環境との関わりを学び、観光資源である自然を使いすぎないよう活用・保全を行っていきます。</p>

<p>・観光振興・地域振興</p> <p>・環境教育の場としての活用</p>	<p><観光振興・地域振興></p> <p>① 「鳥羽エコツーリズム全体構想」認定を記念して、シンポジウムを開催しました。参加者へのエコツーリズムの普及や意識向上に繋がりました。</p> <p>② ツーリズムEXPOジャパンに参加し、エコツーリズムのPR及び情報交換に努めました。</p> <p>③ エコツーリズム推進協議会の情報発信等の普及啓発活動を行い、協議会の価値を高めていきます。</p> <p><環境教育の場としての活用></p> <p>気軽に鳥羽のエコツーリズムを知っていただけるエコツアーカフェを開催しています。エコツアーカフェは講演会とは違い、ざっくばらんに講師と意見交換を行うことができるため、参加者の知識向上につながります。</p>
<p>特記事項</p>	<p>鳥羽市エコツーリズム推進協議会では、「循環」と「連携」をキーワードに鳥羽のエコツーリズムを進めるため、さまざまな団体が協議会に関わり、協議や仕組みづくり、普及啓発を行っています。また今年、全体構想の見直しの年にあたるため、見直し作業を実施していきます。</p>

南丹市美山エコツアーリズム推進協議会の活動状況

京都府南丹市

項目	内容
<p>代表的なエコツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコツアーの名称 ・実施時期 ・エコツアーの内容 ・問合せ先 	<p>■かやぶきの里ガイドツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：通年 ・内容：美山町北地区（国の重要伝統的建造物群保存地区：通称かやぶきの里）を地元のガイドが同行してご案内します。かやぶき屋根の材料や構造、暮らしぶりなどについて丁寧にお話します。集落内には民俗資料館があり内部の見学もできます。 ・問い合わせ先：有限会社かやぶきの里・北村かやぶき保存会 <p>■芦生の森ネイチャーガイドトレッキングツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：4月中旬～11月 ・内容：関西以西では屈指のブナの原生林を抱く京都大学芦生研究林を地元ガイドがご案内します。美山の自然や文化についてお話ししながらゆっくと歩きます。研究林への車での乗り入れは規制されていますが、このツアーは、大学との連携で実現しています。 ・問い合わせ先：美山町自然文化村・芦生山の家 <p>■あまご つり教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：4月中旬 ・内容：由良川の支流での体験的な溪流釣り教室。川の様子や魚の生態を学んだうえで、魚釣りに挑戦します。鮎釣りや川魚釣りの全国大会優勝者が指導します。豊かな自然と人との関わりについて体験的に学びます。 ・問い合わせ先：美山町自然文化村 <p>■美山クリーンリバー作戦</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：5月中旬 ・内容：由良川の上流部、通称「美山川」関西屈指の清流として知られていますが、近年自然環境の悪化や、不法投棄等により、河川状況が悪化しています。地元漁業組合と行政と協力し河川内のごみ拾いや、雪害で折れた竹や、危険な倒木の除去を行い、誰もが安全に美山川を利用できるように行っています。 ・後援：南丹市 共催：美山漁業協同組合 美山環境保全対策協議会 美山産官学公連携協議会

・問い合わせ先：NPO 法人芦生自然学校

■ベニバナヤマシャクヤク鑑賞会

・実施時期：6月初旬

・内容：京都府指定希少野生植物の「ベニバナヤマシャクヤク」を6月初旬の2日間限定でご覧いただける鑑賞会です。希少植物を守る活動や地域の活性化に如何につながるかなど地元のみなさんと楽しみながら鑑賞します。秋には、真っ赤な実をつけた姿を鑑賞します。

・問い合わせ先：内久保環境・史跡保存会

■天然うなぎと魚釣り

・実施時期：7月6日(土)～7(日)※平成27年度はなし

・内容：女性も子どもも楽しめる、ひと足早い夏休みを美山の自然で体験や関西屈指の原生林を源流とする由良川最上流美山川で天然うなぎ釣り体験や魚釣り体験ができる。初めての方にも地元の名人が捕り方を教えます。夜はみんなで元気満タンになる蒲焼やバーベキュー！夜には蛍が飛んでいることも。七夕の天の川も堪能できます。

・問い合わせ先：NPO 法人美山ほっとステーション

■田歌の祇園神楽と鮎料理

・実施時期：7月14日

・内容：毎年7月14日に行われる田歌の祇園神楽は、鬼役の子供を先頭に3人のヤッコが「ヤトーセ、ヤトーナ」の掛け声に合わせて進みます。天狗やひよっこ、おたふくなどが宿から神社への道中をねり歩きます。五穀豊穡を願うこの祭りは400年以上続いており京都府の無形民俗文化財に登録されています。

・問い合わせ先：美山町自然文化村

■狩猟体験

・実施時期：10月～翌6月

・内容：獣にいかにか遭遇するか。遭遇した時、実猟ではまさに撃つチャンス。この体験では獣に遭遇することをゴールとし、季節、状況に応じたさまざまな方法で参加者とともに挑戦します。出会うまでのプロセスとその緊張感を肌で感じ、野生動物との本気のやり取りを実感して下さい。狩猟はいつでも成功しません。遭遇がない場合もあることを十分にご理解いただいたうえで参加してください。人と自然のつながりを学びます。

・お問い合わせ先：田歌舎

	<p>■大人の修学旅行モニターツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：11月下旬 ・内容：美山の自然や暮らしの体験をおこないます。佛教大学との連携協定に基づき、京都府の大学が連携し公共政策士の養成プログラムの一環としてモニターツアーを実施しました。どのような手法で「観光による地域活性化」が可能になるのかを追求しました。結果、地域の観光を「事業」として捉え、事業計画や売上額の目標、雇用の確保がどれだけできれば人口減少の歯止めにも有効な産業として位置づけることができるのかなどを検証しました。 ・問い合わせ先：美山ふるさと株式会社 <p>■冬の田舎暮らし体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：2月 ・内容：雪に包まれた里山の冬。春を待つ準備とこの季節ならではの楽しみ方、先人たちの知恵と工夫を美山で体験します。もちつき、わら細工、味噌作り、囲炉裏で夕食。 ・お問い合わせ先：NPO 法人美山ほっとステーション
<p>エコツーリズム推進法の基本理念への取り組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境の保全 <p>・観光振興</p>	<p><自然環境の保全></p> <p>美山町の重要な地域資源である芦生の森の環境保全のために入林規制をもうけ、観光事業者は、このルールに従ってツアーを実施している。このルールとは、車両の進入禁止エリアに、1日1事業者2台の車両を許可し自然環境に対する影響を最小限にとどめている。</p> <p>また、野草教室、ホテル鑑賞、ガイドツアーハイクなど地域住民が所有する山野をことわって利用させていただいている。特に、盗掘や無断採集等がないよう参加者には説明を行っている。南丹市では、カジカガエル保護条例やホテル保護条例などで対象となる生物の保護を通して貴重な自然環境をみんなが意識して守るようにしている。</p> <p><観光振興></p> <p>観光を通じた六次産業を目指す美山町は、エコツーリズムを活用して農産物の販売、加工食品の販売、宿泊、料飲事業、旅客運送事業、旅行業などを行っている。</p> <p>最近では、インバウンドの急増によりかやぶきの里の観光や田舎の伝統的な暮らしぶりの体験などの関心が高まり、冬期の観光の売上が向上している。そのため、WEB 上での詳しい情報発信や表示板</p>

<p>・地域振興</p> <p>・環境教育の場としての活用</p>	<p>の多言語化、体験メニューの開発が求められている。</p> <p><地域振興> エコツーリズムには、地域の協力なくして実施できない。観光客を受け入れることで地域の資源に誇りを持ち、生きがいを感じることでできる機会が数多く生まれている。広い面積を有する美山町では、観光振興や地域振興の地域の違いによる温度差も生じており、今後オール美山で観光事業に取り組むことが課題である。</p> <p><環境教育の場としての活用> 平成14年から教育旅行を受け入れている。年間10数校の小中校が美山町を訪れており、日本の農山村の原風景が残る美山町で景観とそこに住まうつつましい暮らしぶりを学ぶことができる。芦生の森が代表する貴重な大自然に触れることは人間が一人では生きることができないことを実感することができ、「共生」と「感謝」という日本人の根本的な精神に触れ学ぶには美山町は最高の舞台を提供してくれる。</p>
<p>特記事項</p>	<p>本協議会は、平成26年11月に南丹市美山エコツーリズム推進全体構想が認定され、地域でのエコツーリズムの関心の高まりを推進する大きなきっかけとなりました。京都府が推進する「森の京都構想」や美山町全域を含む丹波高原が平成27年度には国定公園になると予定されており地域の活性化に弾みをつけることが期待されます。</p>

渡嘉敷村エコツアーリズム推進協議会・

座間味村エコツアーリズム推進協議会の活動状況

沖縄県渡嘉敷村・座間味村

項目	内容
<p>代表的なエコツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコツアーの名称 ・実施時期 ・エコツアーの内容 ・問合せ先 	<p>慶良間地域では、さまざまな事業者によって、スキューバダイビング、シュノーケリング、シーカヤックなどの体験型エコツアーやホエールウォッチングなどのエコツアーが実施されています。</p> <p>スキューバダイビングやシュノーケリング、シーカヤックなどは一年を通じて行われているほか、ホエールウォッチングは1月から4月にかけて行われています。</p> <p>平成27年度も例年同様のエコツアーが実施されます。</p>
<p>エコツアーリズム推進法の基本理念への取り組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境の保全 ・観光振興、地域振興 ・環境教育の場としての活用 	<p><自然環境の保全></p> <p>地元のダイビング協会などが中心となり、海域の保全活動として、オニヒトデの駆除、シロレイシガイダマンの駆除や海岸清掃などを実施しました。</p> <p><観光振興・地域振興></p> <p>慶良間地域は、平成26年3月5日に国立公園に指定されたことなどを受けて、マスコミなどを通じて全国的に紹介されることが多くなり、エコツアーの問い合わせや利用者も増えてきました。それに併せて地域の飲食店、民宿などの利用者も増加しました。</p> <p><環境教育の場としての活用></p> <p>渡嘉敷村では、平成26年6月から7月にかけて、渡嘉敷村を訪れた修学旅行生に対し、サンゴ植え付けの体験学習などを実施しました。</p> <p>また、座間味村では地元ダイビング協会協力のもと、地元の児童生徒へ環境教育として、6月にはサンゴの産卵学習や、体験ダイビングを毎年おこなっています。陸域としては、小学生によるケラマジカの調査をおこないました。</p>
<p>特記事項</p>	<p>平成24年6月の全体構想の認定を受け、特定自然観光資源である「慶良間のサンゴ礁」の保全や利活用に係るルール作りの検討に着手しています。</p>